

ソーシャル・イノベーション

政策メディア研究科兼 総合政策学部教授 鈴木寛

2016年 11月 24日

課題：ステークホルダーマップ、難問構造

- 社会起業家という仕事 チェンジメーカー2（104P-117P）
- フローレンス駒崎さんの例を元にA4一枚に、
ステークホルダーマップを作成し、
どんな難問の構造があるか問題を定義する。
- SFC-SFSにデジタルデータをアップします

ソーシャルイノベーションのポイント

- 誰の何を幸せにしたいのか
- 問題を定義する
 - 現在の情報収集
 - ✓ そのような似た人が、どこにどれぐらい居るのか
(そのようなことが、どこにどれぐらい起こっているのか)
 - ✓ データ、ケースを知る（エビデンス） バイアスの補正
 - 過去・経緯の情報収集
 - ✓ 歴史的段階・局面、トレンドを知る
 - ステークホルダー分析（当事者、当事者間の関係をより具体的に明らかにする）
 - 新たな理論・枠組みを理解し、活用する
 - ✓ 複雑系、行動経済学、哲学
 - 難問の構造を明らかにする（部分最適、コフリクト、ジレンマ、エコシステム）
- 解決策を構想・デザインする
 - ソーシャルリソースのチェック ※強み
 - 未来・将来の情報収集（社会動向、技術動向を知る） ※機会、脅威
 - ルール（システム）、ロール（人事・組織）、ツール（方法）
 - PCCP

リーダー 難問に向き合い続ける賢慮と勇力をもつ人

- 「読書は学問の術なり。学問は事をなすの術なり。
実地に接して事に慣るるに非ざれば決して勇力を生ず可からず。」（福澤先生）
- 当事者として板ばさみ体験。
価値選択における、矛盾、葛藤、二律背反、トレードオフを肌身で実感する。
- 難問と向き合う熟議と創発的協働をリードする。
- 様々な関係当事者が集って、それぞれから見えているものを共有することによって、直面している問題を立体的かつ動的構造・循環によって理解し、その現場に信頼が生まれ、それを改善するために、いかなる方法があるのかを衆知を集め、その際、すべての当事者にそれぞれの役割があることを理解することを通じて、関係者が自発的に協働し、それがシンクロナイズ（同期）することによって、相乗効果が生まれ問題が改善・解決の流れが創発されるための環境が熟議によって醸成される。
- 教養とは、板ばさみになっている人間が判断・決断をするときのよりどころとなるもの。
板ばさみにあった先人たちが、如何に考え、如何に生きたかについて物語の集大成。

リーダーシップとは

- 独立して孤立せず。考えぬき思考停止せず。仲をとりもち事を為す。
- ソーシャルプロデューサー
 - ✓ 様々な人々と繋がり、必要なあらゆる社会資源を集め、組み合わせ、一人ではできない社会価値を作り出し、社会に届けるために必要なあらゆる問題解決を行う人、できる人。
- ソーシャルコンダクター
 - ✓ 多種多様なプレイヤー・アクターをモチベートし、その人がもっている最高のものを引き出し、それらをハーモナイズ、オーケストレーションする人、できる人

難問構造の変遷

- 20世紀の問題と解決：
社会的資源の不足という問題に対して、社会的資源の動員・調達と配分による解決というのが主たるパターン。
資源の動員・調達力がある官庁と企業に問題解決力があつた。
- 21世紀の問題と解決：
経済と政治（徴税と公共財の提供と再配分）の力だけでは解決できない問題が増えた。
 - ✓ 国内的には、経済成長が鈍化、税収伸び悩み、一方で、高齢化に伴い社会保障費の増大、財政赤字が増大。予算を使った有効な新規策を打ちづらい。
 - ✓ 国際的にも、経済成長と再配分だけでは解決できない問題が増大（地球環境問題、テロ、民族対立、尊厳）

2 1世紀の問題と解決

- コミュニケーション不全という問題に対して、関係性の構築と当事者の気づきと学習、コミュニケーションと協働による解決というのが主たるパターン。

確固たる組織目的と構造的な解決法をアプリアリに持っている企業と官庁はこの種の問題解決は苦手。

当事者との動的なコミュニケーションが可能な自由度をもった大学、学校、メディアがその場になりうる。

※参考：日本法哲学会会長の井上達夫は、日本の問題は、「関係性の貧困」であると指摘

高大社接続改革 難問、悪循環の構造

- 早稲田の大学受験問題が見えてきた
 - 受験戦争とは
 - 大学の学びが社会に出てから意味を感じられないことに時間を投資するむなしさ
 - そしてその状況に駆り立てられている
 - ※将来意味があることであればよいのだが
 - 受験料、暗記科目のむごさ
 - マークシート（近代のコミュニケーションデザイン 選択肢を与えて選択）
 - ↓
- 自己肯定感の欠如
- ルサンチマン大量生産
- アントレプレナーシップの欠如
- ノイジーマイノリティの助長
 - ↓
- ソーシャルイノベーションを阻害している

大学入試 = 受験戦争

- 近代 v s 卒近代
- 人工物重視文明 v s コミュニケーション重視文明
- 工業社会 v s 情報文化社会
- 大量生産・流通・消費・廃棄文明 vs 情報文化創発
- Cooperative Routine Obedient Labor v s Creative Collaborative Artworker
- 人工知能、デジタルテクノロジー
- 協業力 v s 情報編集力、情報創造力
- 暗記・反復 v s 協働的問題解決・情報創造・創発
- 暗記偏重 v s マークシート v s AO (SFC, 早稲田国際教養)
- 早稲田の社会の入試、センター入試 v s 東大・京大の論文、SFCの小論文

特異点 2045年

- シンギュラリティ（特異点）
- 人工知能が自分の能力を超える人工知能を自ら生み出せるようになる時点
- 「人工知能、遺伝子工学、ナノテクノロジーが組み合わさると、「生命と融合した人工知能」が実現する。」
レイ・カーツワイル

人工知能にとって代わられる仕事

- ターゲッティング広告・画像診断・ネット検索
- パーソナル・ロボット、防犯、ビッグデータ活用
- 自動運転、物流、農業、熟練工、異常検知
- 家事、医療・介護、受付・コールセンター
- 通訳・翻訳、グローバル化の加速
- 教育、秘書、会計・税務、ホワイトカラー支援

10年後から20年後まで残る職業 ベネディクト・オズボーン

- レクリエーション療法士
- 整備・設置・修理の第一線監督者
- 危機管理責任者
- メンタルヘルス・薬物関連ソーシャルワーカー
- 聴覚訓練士
- 作業療法士
- 歯科矯正士
- 医療ソーシャルワーカー
- 口腔外科医
- 消防・防災の第一線監督者
- 栄養士
- 宿泊施設の支配人
- 振り付け師

10年後から20年後まで残る職業 ベネディクト・オズボーン

- セールスエンジニア
- 内科医・外科医
- 教育コーディネータ
- 心理学者
- 警察・刑事の第一線監督者
- 歯科医
- 小学校教師
- 医学者
- 小中学校の教育管理者
- 足病医
- 臨床心理士・カウンセラー・スクールカウンセラー
- メンタルヘルスカウンセラー

3Dプリンターの可能性

- 金型がいらなくなる
- 大きな設備がいらなくなる
- 工場がいらなくなる
- 大会社がいらなくなるかも減るかも？
- 資本がいらなくなるかも
- 資本主義がかわるかも
- 労働者と工場と市場が集まった都市はどうかわる？
- 大量生産、大量流通、大量廃棄文明からの卒業

<http://www.youtube.com/watch?v=1gzkCuLGzn0>

人工多能性幹細胞 (iPS)

- 自然観察
 - ✓ 植物における分化万能性
 - ✓ ES細胞（胚性幹細胞）等に分化万能性
- 実験 現象の発見
 - ✓ カエルの体細胞核移植により、クローン技術の開発に成功
 - ✓ マウス
- 原理・法則の発見
 - ✓ リプログラミングにより分化万能性を持たせられることの発見（ジョン・ガードン教授&山中伸弥教授）
- 発明
 - ✓ 人工物化（山中伸弥教授）ヒト人工多能性幹細胞
- 改良
 - ✓ 機能の最大化 臓器 網膜 高橋政代 2014年9月12日
 - ✓ リスクの最小化 がん
 - ✓ コストの最小化
 - ✓ 用途の多様化 治療
- 社会からの受容
 - ✓ 倫理的課題 どこまで
 - ✓ 社会的意義 難病治療 難病に立ち向かう国日本

如何に真の問題認識・設定をするか？

- 修羅場・板挟みの現場を参与観察し、実際のプロジェクトを通じて、自らの板ばさみ体験をみつめる。
 - ① 自分はどんな難問（分野・パターン・タイプ・誰の）に挑みたいのか？それはなぜか、その動機を確認する。難問と向き合い続けられる意志はどこからくるのか？
 - ② 実際の現場での具体的な問題に即し、そこに錯綜する複雑な利害の構造や悪循環を鳥瞰的に詳細に理解する。

如何に真の問題認識・設定をするか？

- ③ 拮抗する価値を両立しうる解を、様々な解法を総合的に駆使して、解を模索する。
- ④ 解なしの場合こそが重要。どうするかが問われる。熟議を始める。知恵・人間関係を駆使し、個別・暫定解をかりうじて見出す。
- ⑤ 知恵に基づき、アクションを取れば、現状がよくも悪くも変化する。その変化を踏まえて、問題の再定義、構造のより深い把握。
- ⑥ 上記のプロセスを積み重ね続ける。

授業・ワークアウトプット

- 9/29 オリエンテーション
- 10/6 講義 1 & ワーク ソーシャルイノベーションとは
- 10/13 外部講師 1 SFC卒業生の活躍 & シェアプロ
- 10/20 講義 2 & ワーク 誰の何を幸せにするのか
- 10/27 講義 3 & ワーク ステークホルダー分析
- 11/3 講義 4 & ワーク 難問の構造を明らかにする
- 11/10_ 外部講師 2 データサイエンス協会 安宅和人さま
- 11/17 三田祭で休み
- 11/24 講義 5 & ワーク 解決策を構想・デザインする
- 12/1 外部講師 3 認定NPO法人カタリバ 今村久美さま
- 12/8_ 外部講師 4 LITALICO 長谷川敦弥さま
- 12/15 講義 6 & ワーク PCCP
- 12/22 外部講師 5 DENTSU LAB TOKYO 菅野薫さま
- 1/12 外部講師 6 ピースウィンズ・ジャパン 大西健丞さま
- 1/19 最終発表PCCP & フィードバック

学生が参照すべき本

- 世界を救う処方箋
- 日本の幸福度-格差・労働・家族- 大竹、白石、筒井 日本評論社 2010
- 幸福の世界経済史 OECD開発センター 明石書店 2016
- OECD幸福度白書2 経済協力開発機構 (OECD) 明石書店 2015
- 幸福の経済学 キャロル・グラハム 日本経済新聞出版社 2013
- 幸福度をはかる経済学 ブルーノ・S・フライ エヌティティ出版 2012
- 暮らしの質を測る スティグリッツ、フィトゥシ、アマティアセン 金融財政事情研究会 2012
- 幸せのメカニズム 実践・幸福学入門 前野隆司 講談社 2013
- ボランティア経済の誕生—自発する経済とコミュニティ 金子郁容、鈴木寛 実業之日本社 1998
- 「幸せ」について知っておきたい5つのこと NHK「幸福学」白熱教室
NHK「幸福学」白熱教室制作班、エリザベス・ダン KADOKAWA/中経出版 2014
- 世界一幸福な国デンマークの暮らし方 千葉忠夫 PHP研究所 2009
- 下流社会 新たな階層集団の出現 三浦展 光文社 2005
- 無縁社会 NHK「無縁社会プロジェクト」取材班 文藝春秋 2010
- 自殺のない社会へ 澤田康幸、上田路子、松林哲也 有斐閣 2013
- 持続可能な福祉社会—「もうひとつの日本」の構想 広井良典 筑摩書房 2006